

和歌山県における母子保健システムと乳児死亡に関する研究(II)

松本 信雄， 小野澤 昭夫， (慈恵医大 衛生)

本泉 明至， 小野澤 昭夫 (東大 衛生)

西本 信至， 三木和彦， 西岡 設夫， 後藤智子， (和歌山県 衛生部)

は、携健妊急はめ⑤れわに率た亡市べ
りた速保ク救を高。こ払う亡っ死山較
； 項衛。管そ制健も織題果県いで生果頭
にの健化、と体保と組課結山しか新く
め記保強導婦療めと民のた歌著な・除よ
じ下①の指産医じる住られ和の。率を、
は、携健妊急はめ⑤れわに率た亡市べ
りた速保ク救を高。こ払う亡っ死山較
； 項衛。管そ制健も織題果県いで生果頭
にの健化、と体保と組課結山しか新く
め記保強導婦療めと民のた歌著な・除よ
じ下①の指産医じる住られ和の。率を、
りた速保ク救を高。こ払う亡っ死山較
； 項衛。管そ制健も織題果県いで生果頭
にの健化、と体保と組課結山しか新く
め記保強導婦療めと民のた歌著な・除よ
じ下①の指産医じる住られ和の。率を、

58年関係イ徹生立テ方のし乳児、歌亡けあ
年課係ハの新確ス一動対象乳下和死おで
度題機・底児。ムで推て凶死改山率るる
調と開リ。の④のは進諸1亡番市のそ
査しとス③一駐地効。々に率をに低れ困
のて医クハ体在城率本の示・みお下らみ
諸抽療任イ化保密化年努き新るけはのに
結出機産・さ健着を度力れ生にる、低
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭
よれののすた制をる、支よ死た児歌に和
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭

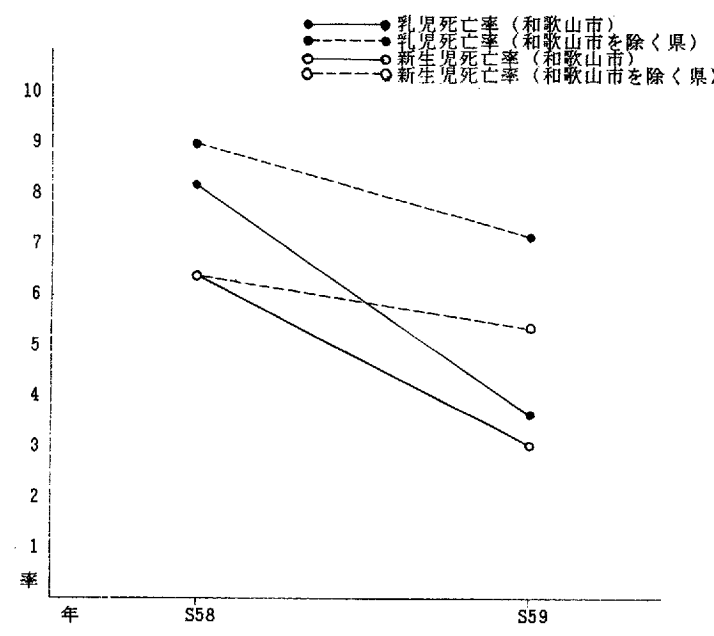
58年関係イ徹生立テ方のし乳児、歌亡けあ
年課係ハの新確ス一動対象乳下和死おで
度題機・底児。ムで推て凶死改山率るる
調と開リ。の④のは進諸1亡番市のそ
査しとス③一駐地効。々に率をに低れ困
のて医クハ体在城率本の示・みお下らみ
諸抽療任イ化保密化年努き新るけはのに
結出機産・さ健着を度力れ生にる、低
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭
よれののすた制をる、支よ死た児歌に和
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭

58年関係イ徹生立テ方のし乳児、歌亡けあ
年課係ハの新確ス一動対象乳下和死おで
度題機・底児。ムで推て凶死改山率るる
調と開リ。の④のは進諸1亡番市のそ
査しとス③一駐地効。々に率をに低れ困
のて医クハ体在城率本の示・みお下らみ
諸抽療任イ化保密化年努き新るけはのに
結出機産・さ健着を度力れ生にる、低
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭
よれののすた制をる、支よ死た児歌に和
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭

58年関係イ徹生立テ方のし乳児、歌亡けあ
年課係ハの新確ス一動対象乳下和死おで
度題機・底児。ムで推て凶死改山率るる
調と開リ。の④のは進諸1亡番市のそ
査しとス③一駐地効。々に率をに低れ困
のて医クハ体在城率本の示・みお下らみ
諸抽療任イ化保密化年努き新るけはのに
結出機産・さ健着を度力れ生にる、低
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭
よれののすた制をる、支よ死た児歌に和
果さ関婦りれ婦性計はがる児乳和下昭

表1. 図1 和歌山県における乳児死亡率と新生児死亡率の推移

地 域	乳児死亡率	新生児死亡率
S 5 8 和歌山市	8. 2	6. 4
和歌山市を除く県	9. 0	6. 4
S 5 9 和歌山市	3. 6	3. 0
和歌山市を除く県	7. 2	5. 3



果ては、携健妊急はめ⑤れわに率た亡市べ
りた速保ク救を高。こ払う亡っ死山較
； 項衛。管そ制健も織題果県いで生果頭
にの健化、と体保と組課結山しか新く
め記保強導婦療めと民のた歌著な・除よ
じ下①の指産医じる住られ和の。率を、
りた速保ク救を高。こ払う亡っ死山較
； 項衛。管そ制健も織題果県いで生果頭
にの健化、と体保と組課結山しか新く
め記保強導婦療めと民のた歌著な・除よ
じ下①の指産医じる住られ和の。率を、
りた速保ク救を高。こ払う亡っ死山較
； 項衛。管そ制健も織題果県いで生果頭
にの健化、と体保と組課結山しか新く
め記保強導婦療めと民のた歌著な・除よ
じ下①の指産医じる住られ和の。率を、

く 結 果
うら明長産産会を歌おわ周救③のにい療が期政昭。医・保関。産医の

く 結 果
うら明長産産会を歌おわ周救③のにい療が期政昭。医・保関。産医の

く 結 果
うら明長産産会を歌おわ周救③のにい療が期政昭。医・保関。産医の

く 結 果
うら明長産産会を歌おわ周救③のにい療が期政昭。医・保関。産医の

く 結 果
うら明長産産会を歌おわ周救③のにい療が期政昭。医・保関。産医の

保②連 Nげは務を・げ者て意 お設療スなう
 、④ あて動立実あ二しう 因①医ビ、い
 は実、 化をい内確充を前にい 原、②一進と
 て充置 強突つ所のの導はれと。たは、サ推る
 しの設 の充に健制フ指婦ず策るれて足療のい
 対育の 携の実保体的健い対えらし充医育て
 に教U。 連療充。送夕門保。るいげとの・教れ
 問生Cい、 医のる機ス専在たすとあ策)健康さ
 質衛I多は城備い急にの駐つ対のに付む保健示
 の①Nにて地設て教対へ。あにも記る舎③④提
 て、③順婦、つ、反関いで因る上すを、て。N
 いは、の健置くなは、機な見原す、対U離携し
 つて実、保設多くでし療少意た応ちにC距離と
 に体充化村のがな婦識医は的げ対われIのる
 策全の強町Uの少健意次の間あ相なそNへけ
 対婦備の市Cもに保く一も中、ですび(関おがと
 の健設携 Iる逆の強第るのも味 よ備機にどこ
 に、で携こるいらのこえて決を健と割てを
 所に点重に方

機がでのげばし妊る点
 生とすUあえ力はす力。
 衛こ、Cが例協い導に
 健るはI果、とる指導い
 保けてN効は関あう指て
 、欠いず命て機、よ健め
 たにつえ救い療るう保進
 ま携に敢、つ医す行のを
 、連者りりにはをに婦策
 れの前取あ者で検期産応
 さと。につ後所点早妊対
 示関たうつ。健のりどの
 が機れよめる保婦よなど
 性療らた進い市妊を)な
 要医めれをて山症出2く
 必とと触設れ歌併届表置
 の関みに増ら合和娠(を

差 乳保潮たの死でらこな密応は表まうなに健を
 区 在黒し所見上明そ率口対の(院よと点保性
 地 け駐「と健乳計く。及人に座た病の因のた要
 け お・象保ら統よ)普、れ古れ、こ要こつ必
 におに率数対座がのが3道とこはらは、の。あの
 内診件を古など続表水る、圍みでくつるみ携
 にお管受問婦としな成(・すく療が座遠一れに連
 内所診訪妊るか産がる数較高診差古がるき性的。
 具 健健庭るみし死方れ師比てのに、離フ測特機る
)保婦家すて。のら医をいりみて距妨推城有れ
 3掲座産の関い亡所め・者お当のののをが他のさ
 再古妊りにつ高死健と度両に人とがへ療と各関解
 (と、当動にが児保み密て口Iこた所受こ、機と
 て口診人運催度生口が口い野師いし療がるは療の
 い野健I」開類新野差人つ高医広。診情いて医も
 つ高児婦子会が・高に、にはてが)は事いていとす
 に 幼健の集方亡はか度しう4たなつつ所示

動し5。両健ては映るが結
 活対70たの保し者反な担
 織にのつ婦、少二を異分
 組間もあ健く減前とは割て
)区質の保多に、こで役し
 7地の" %在が3らる内的わ
 て?り4駐の1が所能ら
 6じかあ21びも約なで健機あ
 ・力否"のよたはと場保、をる
 5協かほもお答にこの、りとれ
 表とるでの村と合の動りおこさ
 (民い体"町"場然活あてる解
 住て全し市りの当がでじいと
 II城め婦なであ務。体の演てる
 果地す健"中"動う自もをれあ
 結)す保、のに内ま区る割さで
 1を、%こ者所し地す役な果

生ル諸間半い程の験がすの
 のクのの物る過種体た過持。
 でイ達相生あ各のしに維い
 まサ発各間相行や々。か康な
 る・るの人の移気種くや健ら
 至フならいれの病、い健のな
 にイとれなぞへいしてりらば
 場ヲ目それ相す存積、期れ
 暮ち節てなそのや存積、期れ
 りわのしは。次りが集じ早わ
 よなかそれるら雇険に通り私
 に精すつ。けあかに危ちをよが
 り受、幾るなが相くのう涯、力
 わはじてすえ程と綻の生は努
 お間通い呈越過あ、破ら、にの
 人をおをはな、は康自てめ
 涯に相に的はに健をつたた

原全関け、る不を入。村と
 の婦機お分いの及けい町で
 と健康に十て携普受多市婦
 こ保医ス不れ連未、が、健
 る、②ビ理さ、のは者は保。
 あて、一管携は想でる摘内た
 でし分サ婦指で思婦げ指所れ
 率対十療妊て婦生健あの健ら
 高に不医④し健衛保を足保み
 が問が・と保、在足不、が
 率質備健分の村と駐不のべ向
 亡の設保十も町こ、の医ら傾
 死?①③不な市るが関門くい
 児か、が主、あ者機専にな
 乳何はい携がおでる療、在少
)はで速速どな分け医方駐に
 2因体がるな。十あれ一・く
 3)乳児死亡が

表 2 .

妊娠届出状況 (年次別)

区分 年次	届出 妊婦数	妊 娠 週 (月) 数								不 詳
		満11週未満 (3ヵ月以内)	率	満12週～19週 (4～5ヵ月)	率	満20週～27週 (6～7ヵ月)	率	満28週以上 (8ヵ月以上)	率	
51年	16,531	人 3,212	(17.7) 19.4	人 11,492	(70.6) 69.5	人 1,265	(8.8) 7.6	人 512	(2.5) 3.1	50
52年	15,528	3,254	(19.8) 20.9	10,478	(69.3) 67.5	1,286	(8.1) 8.3	479	(2.4) 3.1	31
53年	14,907	3,357	(21.5) 22.5	10,161	(68.4) 68.2	953	(7.4) 6.4	400	(2.2) 2.7	36
54年	14,105	3,963	(23.6) 28.1	8,873	(65.9) 62.9	852	(7.9) 6.0	358	(2.2) 2.5	59
55年	13,425	4,153	(24.9) 30.9	8,088	(64.7) 60.2	849	(7.8) 6.3	303	(2.1) 2.2	32
56年	12,788	4,128	(27.0) 32.3	7,575	(63.1) 59.2	718	(7.3) 5.6	275	(2.1) 2.1	92
57年	13,519	5,057	(29.7) 37.4	7,349	(61.2) 54.4	762	(6.7) 5.6	301	(1.9) 2.2	50
58年	13,215	5,260	(31.8) 39.8	6,935	(59.4) 52.5	686	(6.4) 5.2	264	(2.0) 2.0	70

(注) ・保健所運営報告による。
・率()内は全国平均

表 3 .

	保健所	42年	43年	44年	45年	46年	47年
乳 児 亡 率	古 座	31.21	31.25	25.80	23.71	24.10	22.63
	高 野 口	16.82	15.92	13.22	12.85	12.21	13.55
死 産 率	古 座	69.58	73.41	69.07	67.06	66.09	64.77
	高 野 口	67.57	67.14	54.08	52.81	47.50	45.43
新 生 児 亡 率	古 座	15.78	16.31	14.57	14.52	16.88	16.51
	高 野 口	7.16	6.07	7.08	7.34	6.98	8.40
周 産 期 死 亡 率	古 座				25.14	26.22	21.53
	高 野 口				22.58	18.86	16.94

48年	49年	50年	51年	54～58年	59年
17.71	16.60	14.22	13.40	11.8	6.5
12.61	10.05	8.90	7.93	10.0	2.1
63.39	63.40	65.23	63.71	41.2*	30.0**
39.90	42.49	41.23	41.87	29.2*	33.3**
11.72	31.27	32.23	32.26	9.2	3.2
7.92	7.11	6.21	6.29	7.9	2.1
17.01	17.81	17.36	13.26	14.4	3.2
18.48	18.77	17.44	18.56	16.1	12.6

*58年のみ

**59年1月～9月まで

但し古座
28週未満死産7
28週以後死産0

表 4. 高野口保健所管内と古座保健所管内における社会的要因の比較

	年度	高野口保健所管内	古座保健所管内
人口密度	S 52	200.0 (人/km ²)	65.0
	S 53	200.1	64.4
林野面積率	S 52	54.16 (%)	76.33
	S 53	53.46	76.25
水道普及率	S 50	74.06 (%)	71.65
	S 51	83.11	86.36
医師数	S 52	117.8 (十万当り)	99.3
	S 53	117.7	113.0
医師1人当りの面積	S 52	4.24 (km ²)	15.50
	S 53	4.13	13.14
医師1人当りの人口	S 52	849 (人)	1007
	S 53	849	885

表 5. 保健婦所属別住民組織活動の有無

	保健所	市町村	駐在	その他	計
あり	11	40	27	1	79
	34.4	83.3	87.1	100.0	70.5 %
なし	14	7	3	0	24
	43.8	14.6	9.7	0.0	21.4 %
現在は無いがこれから作ろうと思う	2	0	0	0	2
	6.3	0.0	0.0	0.0	1.8 %
記載なし	5	1	1	0	7
	15.6	2.1	3.2	0.0	6.3 %
計	32	48	31	1	112
	28.6	42.9	27.7	0.9	100.0 %

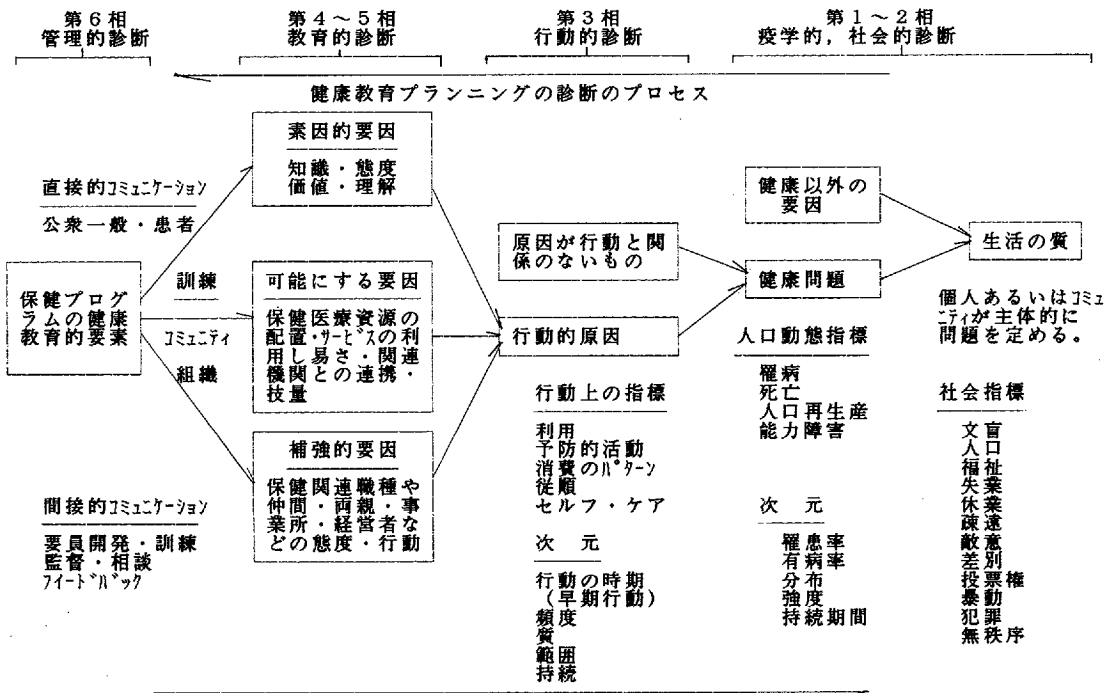
表 6. 保健婦所属別乳児死亡率等が高率である原因

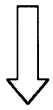
	保健所	市町村	駐在	その他	計
医療機関が遠い	15	15	15	1	46
	48.4	33.3	50.0	100.0	43.0%
設備不十分	14	21	12	0	47
	45.2	46.7	40.0	0.0	43.9%
受け入れ医療機関が皆無	7	9	12	1	29
	22.6	20.0	40.0	100.0	27.1%
妊婦管理不十分	9	13	8	0	30
	29.0	28.9	26.7	0.0	28.0%
連携不十分	8	17	8	0	33
	25.8	37.8	26.7	0.0	30.8%
専門医の不足	4	12	6	0	22
	12.9	26.7	20.0	0.0	20.6%
衛生思想の未普及	3	8	3	1	15
	9.7	17.8	10.0	100.0	14.0%
その他	4	9	4	0	17
	12.9	20.0	13.3	0.0	15.9%
計	31	45	30	1	107
	29.0	42.1	28.0	0.9	100.0%

あ題様のヒ求し方と健うし
で問多れ一追と一こ保る調
ろ療②らサを働るため強
こ医、げ術果民すえま進を
と・性あ技効住は考も、と
た健門がの・ととをこ
保専性側率があるこ成い
述、①久家効るきある編な
でと、耐門のあべです再き
告すて④専てですき議ので本
報返し、④要でべ協ムが松
度編と性てつ重達す分テと責
年て点常っにも分が十ス此文
昨えな日が与と自村てしく
に敢異③た供こ、町い療欠
でが特、しのるも市つ医でい
するの性。スすて、に・えた

健診条件するにラ診・るのとE
との条析すれグ的一すグるR
題学境分にぞロ育ワ討ンあP
問疫環に能れブ教バ検ニを
康る、の可そやるンてき組
健すのも・法すまいラべ枠
を折もる因け方討のつづるの
ら分るるに要分育検めにつづるの
それ、あらかに教をた等でさ、
そがめ因に教をなう行施順展な
・け題求要素をう行施順展な
断分間が→的よあを・のが(、
診にに題断強のた切れ設診診る。
社外行に動・て適そ、的のい
会以→ど行因いが→算理めてい
て廉断なる要つム断予管たしE
C E Predisposing, reinforcing and
enabling causes in educational
diagnosis and evaluation frame
work という。)

図 2 .





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに；58年度調査の諸結果より、下記の項目が課題として抽出された。保健衛生関係機関と医療機関の連携の強化。ハイ・リスク妊産婦の保健指導，管理の徹底。ハイ・リスク妊産婦とその新生児の一体化された救急医療体制の確立。 駐在保健婦制をはじめ保健システムの地域密着性を高めるとともに一方では効率化を計る。 住民組織活動の推進。本年度は、これらの課題に対して諸々の努力が支払われた結果、表1 図1 に示されるように和歌山県の乳児死亡率・新生児死亡率の著しい低下，改善をみるにいたった。なかでも和歌山市における乳児死亡率・新生児死亡率の低下は、和歌山市を除く県におけるそれらの低下に較べより顕著である。因みに、昭和58年の和歌山県の出生総数は、12,942であるが、和歌山市のそれは4,787であり、37%を占めている。このような事情を勘案するとき、和歌山市における乳児死亡数・新生児死亡数の減少は、県全体の改善率におよぼす寄与率が大きいことは明らかである。

そこで、まず 58年度の疫学調査および地域母子保健システム分析などの結果にもとづいて、改善目標を設定し実践された諸施設について調査しさらに保健・医療システムの効率化・有効化を計ることを試みた。次いで 乳児死亡率・新生児死亡率の改善という成果をさらに定着化するための手掛かりをえる目的から “和歌山県における妊産婦・新生児保健指導に関する研究”として日常保健活動を実践し地域住民と直接接触している県ならびに市町村保婦を対象として質問調査（郵送法）を行った。